

# シンポジウム —観光を通して考える女性の人生—



講演

「自分の人生を描こう！  
～自分らしい人生、しあわせな生き方とは」

小林 希  
Nozomi Kobayashi

1982年生まれ、東京都出身  
立教大学文学部心理学科卒  
旅行作家、フォトジャーナリスト  
『恋する旅女、世界をゆくー29歳、会社を辞めて旅に出た』  
(幻冬舎文庫、2014年)で作家デビュー  
そのほかの主な単著として  
『泣きたくなる旅の日は、世界が美しい』  
(幻冬舎、2016年)  
『世界の美しい街の美しいネコ』  
(エクスナレッジ、2015年)など。  
瀬戸内海を始め、離島の持続可能な観光についても尽力している。

2017年

11月25日(土)

13:00~17:00

西南女学院大学6号館  
6206教室

- どなたでもご来場いただけます。  
予約は不要、入場は無料です。
- ご来場に際しては公共交通機関のご利用をお願い申し上げます。
- お問い合わせ先  
西南女学院大学人文学部教育支援室  
TEL 093-583-5192  
e-mail : j-shien@seinan-jo.ac.jp

講演

「現代『女子』観光論」



友原 嘉彦

Dr. Yoshihiko Tomohara

1980年生まれ、福岡県出身  
九州国際大学附属高校卒 博士(学術)(広島大学)  
四日市大学総合政策学部准教授などを経て、現在、  
西南女学院大学人文学部准教授。  
専門は観光地理学、観光社会学、ドイツ語圏研究。  
著書に『女性とツーリズムー観光を通して考える女性の人生』  
(共著 編者 第2章「現代『女子』観光事情」を担当。  
古今書院、2017年)。

パネルディスカッション  
(講演者も参加します)



庄子 真岐 Dr. Maki Shoji

1977年生まれ、宮城県出身 博士(経済学)(東北大学)  
石巻専修大学経営学部准教授  
上掲『女性とツーリズム』の第11章  
「東日本大震災における観光の変化と  
その担い手としての女性」を担当。



高田 晴美 Dr. Harumi Takata

1973年生まれ、福岡県出身 筑紫丘高校卒 博士(文学)(神戸大学)  
四日市大学総合政策学部准教授  
上掲『女性とツーリズム』の第4章  
「文学作品にみる〈旅〉一男の旅と女の旅」を担当。



長尾 洋子 Yoko Nagao

1970年生まれ、東京都出身 人文科学修士(お茶の水女子大学)  
開発学修士(英ロンドン大学) 和光大学表現学部准教授  
上掲『女性とツーリズム』の第6章  
「あでやかさの舞台裏ー観光資源としての鶴崎踊の成立と  
地域社会における女性」を担当。

